

はじめに

学習指導案は、授業を構想する際の設計図であり、授業を行う際には進行表となり、実施後には、授業や学習指導の記録、次への構想の準備ともなるものです。また、学習指導案には、単元（題材）の目標や指導上の留意点、評価の観点等、学習指導を進める上で考えるべき重要な内容が含まれています。必要な内容を備え、授業や研究に役立つ機能的な学習指導案を作成することは、充実した授業に直結することであり、児童生徒の資質・能力を育成する上でとても重要であると言えます。

本書は、各学校において学習指導案を作成する際の手引きとしての役割を果たすことを一つのねらいとして作成しました。学習指導案には、活用する場面や目的、教科によって様々な様式があります。各学校においては、学習指導案の基本的な内容や様式についての共通理解を図った上で、授業の目的や研究課題に応じて、項目や内容を付け加える等、児童生徒の課題や自校の研究課題に合わせた様式や内容を検討し、機能的で創意ある学習指導案を作成されることを期待しています。

また、本書は、校内研修や研究の資料として活用されることをもう一つのねらいとしています。学習指導案について考えることは、その単元（題材）で育む資質・能力を明確にし、それらを実現するために学習指導と評価の見通しをもち、一単位時間のねらいや学習方法の在り方等について考えることでもあります。「学習指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのか。」「その資質・能力を育成するための主体的・対話的で深い学びをどのように設定するのか。」「指導と評価をどのように計画するのか。」等、学習指導の根幹に関わる内容について協議したり研修したりすることは、児童生徒に求められる資質・能力の育成を目指した授業構想や学習指導のために欠かせないことと言えます。各学校等において、研究授業の一環として学習指導案を検討される際等に、活用されることを願っています。

